

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】 特開 2000-88529 (P2000-88529A)
 【公開日】 平成 12 年 3 月 31 日 (2000.3.31)
 【出願番号】 特願 平 11-249010
 【国際特許分類】

G 0 1 B 11/02 (2006.01)

B 6 5 H 43/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 11/02 Z

B 6 5 H 43/06

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 2 月 24 日 (2006.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 シート材料のスタックが臨界高さに達したことを検知するようになっている検知装置であって、

前記スタック表面から離れて配置され、前記スタック表面の領域を照らし、前記照らされた領域が光源と前記スタック表面との間の距離に従って大きさを変えるように、照明領域を形成するよう適合された光源と、

前記照明領域の大きさの変化を検出する検出装置と、

を備えて成り、前記検出装置は、該検出装置が前記照明領域が所定の大きさに達したことを検出すると、前記スタック表面が前記光源からの臨界距離に達したという指示を与えることを特徴とする検知装置。

【請求項 2】 前記検出装置は、前記スタック表面の領域を監視するよう構成、適合されている光検出装置から構成され、前記領域から反射されるにつれて監視される光が前記照明領域の大きさの変化に従って変化し、それにより、前記検出装置が、前記領域を照らす光が所定点に達したとき前記照明領域が所定の大きさに達したことを検出することを特徴とする、請求項 1 に記載の検知装置。

【請求項 3】 前記領域は一般に前記照明領域と重なっていることを特徴とする、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】 前記光源は、前記光源と前記スタック表面との間の距離が減少するにつれて、前記照明領域が減少し、前記領域が次第に少ない光を受けるように、発散性であることを特徴とする、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】 前記領域は、前記光源と前記スタック表面との間の距離が減少するにつれて、前記領域を照らす光が前記領域を横断して前記発散ビームの軸の方に後退するように、前記照明領域に対応して配置されていることを特徴とする、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】 検出装置は、前記検出器の各々が所定レベルの光を検出したとき前記所定点に達するように各々が前記領域の別々の部分を監視するようになっている少なくとも第 1 および第 2 の光検出器を備えていることを特徴とする、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】 前記第 1 の光検出器は、前記光ビームの軸に近い前記領域の一部を監視するようになっているおり、前記第 2 の光検出器は、前記光ビームの軸から遠い前記領域の他の部分を監視するようになっていることを特徴とする、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】 前記第 2 の光検出器は、前記第 1 の光検出器より高くバイアスされて、前記第 2 の光検出器に初めに高い出力電圧を供給し、前記第 2 の光検出器の電圧出力が最終的に前記第 1 の光検出器のものと同一レベルに降下したとき前記所定点に達するようにしたことを特徴とする、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】 前記光源は赤外線源であることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】 請求項 1 に記載した装置を組み込んでいることを特徴とする、インクジェットプリンタ。